

事業所名 グループホーム憩

運営推進会議開催報告書

開催日時 令和 8年 9月 24日 (木)		
参加者(照会依頼含む)		議題
利用者	0名	1. 行事報告
利用者家族	0名	2. 行事予定
地域住民の代表者	1名	3. 利用者様状況
市職員	1名	4. 身体拘束適正化検討委員会より
地域包括支援センター	1名	5. 質疑応答
事業所	3名	6. 次回予定日
会議録		
1. 行事報告 8月3日 夏祭り・スイカ割りを行いました。昼食にて鳥ごぼうの炊き込みご飯・冷やしうどんを召し上がって頂きました。スイカ割りでは、利用者様にスイカを割って頂きました。 8月12日 花火大会を行いました。 9月7日 敬老会を行いました。昼食では、みなさんがそれぞれ食べたいものをリクエストしてもらって、召し上がって頂きました。おやつ時には、品野ロールを召し上がりました。 9月13日 日中想定避難訓練を行いました。避難完了まで、8分11秒でした。 2. 行事予定 10月：誕生日会／11月：岩屋堂にて紅葉祭り		

3. 利用者様状況

介護度	人数
要支援 2	0 名
要介護 1	1 名
要介護 2	2 名
要介護 3	2 名
要介護 4	1 名
要介護 5	3 名
平均介護度	3.3

男性 2 名 ・ 女性 7 名／平均年齢 85.3 歳

4. 身体拘束適正化検討委員会より

ドラッグロックから考えられる身体拘束

ドラッグロック（薬物による行動制限）とは、医療的な必要性ではなく「静かにさせたい」「ワンオペの夜勤で手が回らない」といった介護・手間の都合で向精神薬や睡眠導入剤を過剰投与・過剰使用し、入居者の行動を抑え込む行為を指します。

認知症対応型サービス（グループホーム等）においては、ドラッグロックをはじめとする不適切なケアが引き金となり、連鎖的に他の身体拘束（フィジカルロックやスピーチロック）へと発展するケースが目立ちます。

ドラッグロックから懸念される身体拘束の態様

1. フィジカルロック（物理的な身体拘束）への発展

ドラッグロックによる薬物の影響（眠気・ふらつき・筋力低下）が、さらなる物理的拘束を引き起こします。

- ・転倒防止を名目とした拘束：薬の副作用で足元がふらついた結果、「転倒して危険だから」と車椅子ベルトの着用や、立ち上がりにくい低床・傾斜椅子の使用に及ぶ。
- ・ベッドからの転落防止策：薬でボーっとした状態での立ち上がりによる転落を防ぐため、ベッド全周を柵で囲み閉じ込める。

- ・居室の施錠：薬が切れかかって急に起き出した際の対応が追いつかず、自力で開けられないようにドアを施錠する。

2. スピーチロック（言葉による行動制限）の常態化

薬効の過多や切れ目に伴う認知症状の不安定に対して、現場が言葉で抑え込もうとします。

- ・活動意欲への制止：「動かないで！」「危ないから座ってて！」と強い口調で命令・制止する。
- ・訴えの抑圧：「もうすぐ薬の時間だから静かにして」と、本人の不安や要求（トイレに行きたい、家に帰りたい等）に傾聴せず言葉で封じ込める。

3. 精神・身体機能低下による「過度な介護着（つなぎ服）やミトン」の使用

- ・薬の影響によるせん妄（意識混濁）や不穏状態から失禁や弄便（ろうべん）が起き、脱衣やオムツ外しを防ぐためにつなぎ服を着せる。

なぜ認知症対応型で連鎖が起こるのか？

認知症の方は「嫌な感情や身体の不快感（薬によるだるさ・頭重感など）」をうまく言葉に表現できません。そのため、ドラッグロックで過度に鎮静させられた反動として、かえって強い不穏・暴言・徘徊（BPSD）が悪化することがあります。

その結果、「ドラッグロック」→「ふらつき・不穏」→「フィジカルロック・スピーチロック」という負の悪循環に陥りやすくなります。

防ぐためのアプローチ

- ・服薬の再評価：医師・薬剤師と連携し、BPSD の根本原因（痛み・便秘・不安・環境因子の改善に努め、安易な多剤併用や精神薬の増量を避ける。
- ・チームでのアセスメント：「なぜ暴れているのか・徘徊しているのか」という本人の未充足のニーズを分析し、環境調整や声かけで対応する。

5. 質疑応答

地域包括支援センター

- ・避難訓練時は介護度が重い方はどのように誘導していますか？
→介護度に関係なく、歩行不安定な方は車椅子にて迅速に誘導を行っております。その他の方は歩行及び手引き歩行で誘導を行っております。

瀬戸市役所 高齢福祉課

- ・イベントでのスイカ割りはちゃんと割れましたか？
→しっかりと割ることができました。割れなかった方もいましたが、職員の付き添いの下、チャレンジすることが出来ました。
- ・先日の大雨は大丈夫でしたか？
→憩の敷地内及び建物には問題ありませんでした。庭は水たまりになりましたが、特に問題ありませんでした。目の前の道路は車が水しぶきを上げるほど水が流れていました。

6. 次回予定日

令和8年11月26日（木） 14時～ 場所：グループホーム憩